

第一フロンティア生命の外貨建変額個人年金保険



年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)

# 特別勘定 月次運用レポート

特別勘定名称

グローバル分散型(豪ドル)

この商品は、第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。

2025年3月発行

[募集代理店]

[引受保険会社]

第一フロンティア生命保険株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー  
ホームページ <https://www.d-frontier-life.co.jp/>

お客さまサービスセンター

フリーダイヤル

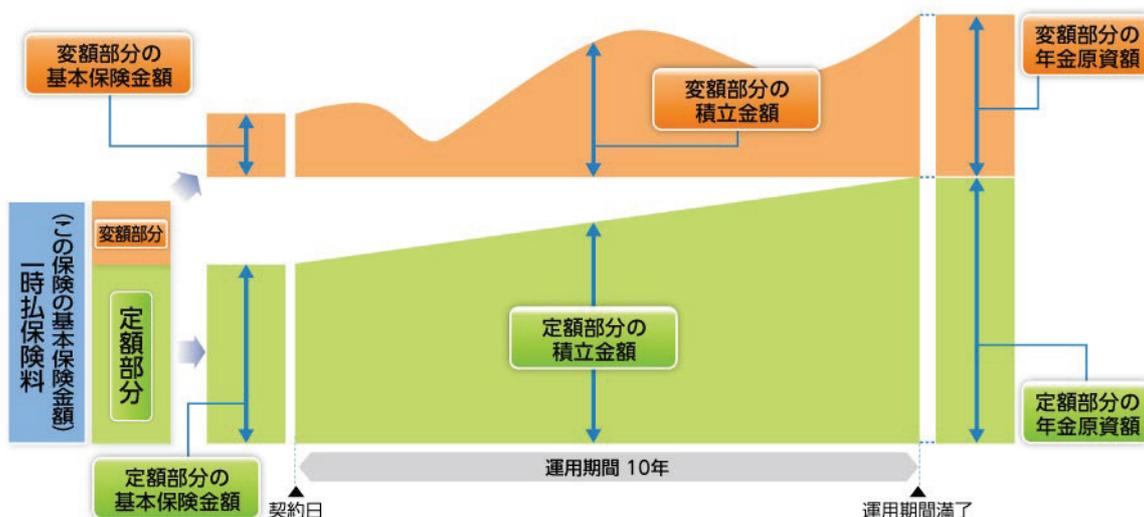
**0120-876-126**

営業時間 9:00~17:00(土日、祝日、年末年始などの休日を除く)

(登)B18F0110(2018.4.20)

## この保険のしくみ図

この保険は一時払保険料について、定額部分と変額部分の2つの部分に分けて運用を行います。



お客さまに負担していただく諸費用について(この保険に係る費用は、以下の費用の合計になります)

運用期間中	定額部分における費用	直接負担していただく費用はありません。積立利率の計算にあたって、ご契約の締結・維持などに必要な費用および死亡給付金を支払うための費用をあらかじめ差し引いております。
	変額部分における費用	保険契約関係費・・・特別勘定の資産総額に対して年率 1.85% 資産運用関係費※1・・・信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率 0.22% (税込)
	特定のご契約者に負担していただく費用	解約控除・・・この保険の基本保険金額に経過年数別の解約控除率(10.0%~1.0%)を乗じた金額
年金受取期間中	保険契約関係費(年金管理費)※2・・・受取年金額に対して 0.4%(円貨で年金を受け取る場合は最大 0.35%)	
通貨を換算する場合の費用	「保険料円貨入金特約」、「保険料外貨入金特約」などの特約の為替レートは、為替手数料としてTTMとの差額(25銭~50銭)を加味したレートであり、その差額はお客さまの負担となります。※3 この他に外貨のお取扱いに必要な費用を負担していただくことがあります。	

※1 上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券・金融派生商品の取引にかかわる費用および消費税などを間接的に負担していただきます。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示していません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により将来変更される場合があります。

※2 年金額は、年金支払開始日以後、年金の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費(年金管理費)は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費(年金管理費)は年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」を付加した場合の特約年金についても様の取扱いとなります。

※3 為替レートは当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがあります。

# 特別勘定の運用レポート

2025年2月末現在

**この保険の変額部分の積立金は、特別勘定で運用されます。**  
**この「特別勘定月次運用レポート」は、変額部分の運用状況を開示したものです。**

## 特別勘定の投資方針

日本を含む先進国の株式、米国債券、先進国の通貨、商品(コモディティ)、為替取引などを実質的な投資対象とする投資信託に投資し、特別勘定資産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託の名称	運用会社
グローバル分散型 (豪ドル)	DIAM世界アセットバランスファンド9VA(適格機関投資家限定)	アセットマネジメントOne株式会社

## 特別勘定の主な投資リスクについて

特別勘定は、日本を含む先進国の株式、米国債券、先進国の通貨、商品(コモディティ)、為替取引などで実質的に運用されるため、**株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、変額部分の積立金額、解約返還金額は変額部分の一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。**

## 特別勘定資産の内訳

資産総額 (百万豪ドル)	資産構成		* 特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用するほか、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。 * 特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。
	投資信託	現預金等	
0.6	99.6%	0.4%	

## 特別勘定の基準価額と騰落率の推移



特別勘定の主な投資対象となる投資信託は円建ての投資信託であることから、豪ドル対円の為替レートの影響により、特別勘定の基準価額の動きと、投資信託の基準価額の動きは異なります。

\* 非表示部分を四捨五入

騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来	基準価額 (2025年2月末)
		-0.05%	-0.24%	-0.96%	-5.69%	-18.56%	-23.46%

\* 特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。  
 特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

## ご留意事項

- \* 年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払の対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
- \* このレポートは年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- \* このレポートには年金原資確定部分付変額個人年金保険(通貨指定型)の商品内容のご説明はございません。ご検討、お申込みの際は、専用の「商品パンフレット」、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」などを必ずお読みください。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。  
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。  
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】  
DIAM世界アセットバランスファンド9VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】  
アセットマネジメントOne株式会社

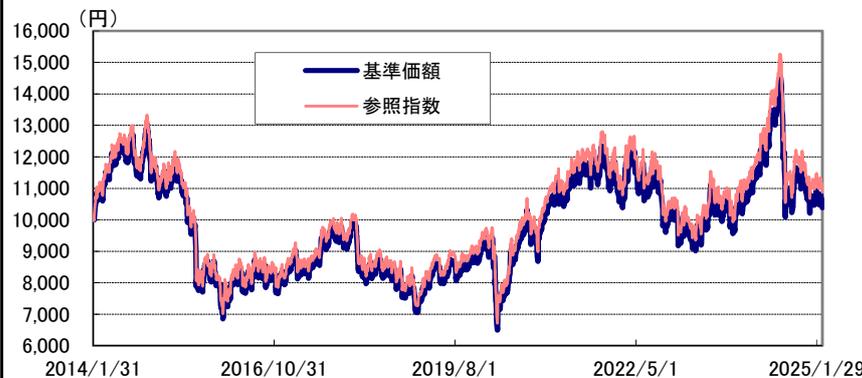
2025年2月28日現在

グローバル分散型(豪ドル)が主な投資対象とするDIAM世界アセットバランスファンド9VA(適格機関投資家限定)は円建ての投資信託です。DIAM世界アセットバランスファンド9VA(適格機関投資家限定)は、実質的に豪ドルで運用するのと同等の経済効果があるように運用を行っていますが、円建の投資信託であるため、その基準価額は豪ドル対円の為替レートの変動の影響を受けます。

■投資方針

当ファンドは、メリルリンチ・インターナショナルとの間で、「DFL ML AUD9VA戦略」(以下「参照指数」といいます。)に連動するオプション取引を行うことにより、参照指数の動きに連動する投資成果を目指します。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



※1 基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。  
※2 基準価額および参照指数は設定日(2014年2月3日)の前営業日を10,000として表示しております。  
※3 基準価額は信託報酬控除後です。  
※4 参照指数の推移は、メリルリンチ・インターナショナルおよびBofA証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額 10,382 円  
純資産総額 62 百万円

ポートフォリオ構成

	組入比率
オプション	95.2%
現金等	4.8%
合計	100.0%

※1 組入比率は純資産総額に対する割合です。  
※2 計理処理の仕組みにより直近の追加設定分が反映されないことなどから、「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
当ファンド	-2.67%	-4.76%	-5.38%	-8.64%	-3.10%	3.82%
参照指数	-2.76%	-4.74%	-5.38%	-8.02%	-2.30%	8.73%
差	0.09%	-0.02%	0.01%	-0.62%	-0.80%	-4.91%

※1 騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りとは異なる場合があります。  
※2 参照指数の騰落率は、メリルリンチ・インターナショナルおよびBofA証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

【参考情報】豪ドル/円の騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
豪ドル/円	-2.75%	-4.91%	-5.29%	-4.75%	12.39%	3.98%

※為替レートはTTM(東京の対顧客電信売買相場の仲値)です。

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、参照指数を対象とするコールオプションに投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します(為替変動リスクもあります)。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。  
 ※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。  
 ※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】  
DIAM世界アセットバランスファンド9VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】  
アセットマネジメントOne株式会社

2025年2月28日現在

メリルリンチ・インターナショナルおよびBofA証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

参考情報

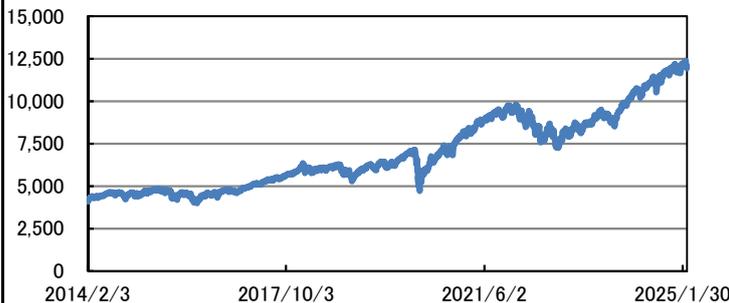
【資産配分割合の状況】

主な投資対象	構成要素	1か月騰落率	配分割合		参照指数寄与度(概算値)
			前月末	当月末	
日本を含む先進国の株式	MSCI ワールド指数	-2.15%	1.9%	1.9%	-0.25%
米国債券	BofAML Global Markets 10年米国債先物指数	1.57%	40.0%	40.5%	2.29%
先進国の通貨	BofAML Global Markets FXアービトラージ指数	-0.73%	44.5%	44.1%	-2.61%
商品(コモディティ)	ICE BofAML コモディティ指数	-0.32%	13.5%	13.4%	-0.51%

※ 配分割合は各資産における配分の状況です。なお、このほかに米ドル売り豪ドル買いの為替取引を行っています。  
 ※ 1か月騰落率は各構成要素(米ドル建て)の騰落率で、当ファンドの月末営業日の基準価額に反映される値を基に計算しています。  
 ※ 参照指数寄与度(概算値)は参照指数(円建て)の騰落率に対する各構成要素の寄与度を表したものです。  
 ただし、概算値であり実際の参照指数(円建て)の騰落率を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。

【各構成要素の推移】

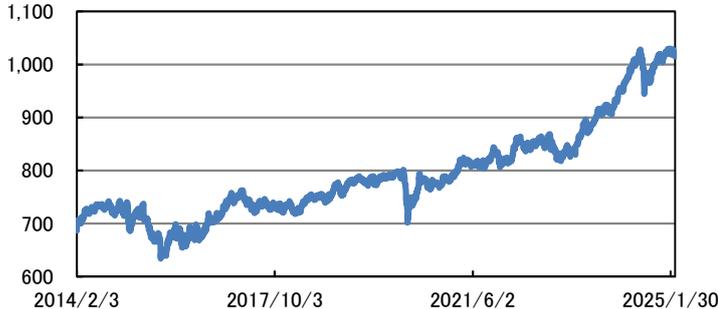
MSCI ワールド指数



BofAML Global Markets 10年米国債先物指数



BofAML Global Markets FXアービトラージ指数



ICE BofAML コモディティ指数



※ 上記のグラフは当ファンド設定日からの各構成要素(米ドル建て)の推移です。

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、参照指数を対象とするコールオプションに投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します(為替変動リスクもあります)。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものである基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。  
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。  
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】  
DIAM世界アセットバランスファンド9VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】  
アセットマネジメントOne株式会社

2025年2月28日現在

市場概況

2月の株式市場は、国内では東証株価指数は前月末比▲3.82%となりました。外国ではS&P500種は前月末比▲1.42%となり、英国のFTSE指数は前月末比+1.57%となりました。債券市場では、国内債券の利回りは0.133%の利回り上昇(価格は下落)となりました。米国債券の利回りは0.331%の利回り低下(価格は上昇)となりました。為替市場では、米ドルは対円で3.08%の円高ドル安、豪ドルは対円で2.75%の円高豪ドル安となりました。

運用概況

参照指数は前月末比で▲2.76%となりました。組入資産のパフォーマンスについては、日本を含む先進国の株式がマイナス、米国債券がプラス、先進国の通貨がマイナス、商品(コモディティ)がマイナスとなりました。平均レバレッジは500%となりました。

メリルリンチ・インターナショナルは、参考指数スポンサーおよび参照指数を構成する指数に係るスポンサーとしての立場で、指数の利用から得られる結果および/または指数の現在もしくは将来の水準、指数の構成銘柄、またはある特定の日の特定の時間もしくはその他における指数の構成銘柄の重要性のいずれについても、明示的または黙示的にかかわらずいかなる表明保証も一切行いません。指数はメリルリンチ・インターナショナルによって編集および計算されますが、メリルリンチ・インターナショナルは(有過失か否かにかかわらず)、指数に関する誤りについて何人に対しても責任を負わず、また、何人にも指数の誤りを報告する義務を負いません。

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、参照指数を対象とするコールオプションに投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します(為替変動リスクもあります)。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したもとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。